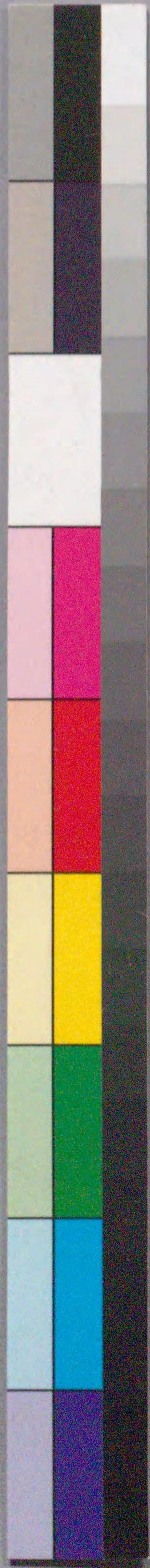


臭気靡ヒリ倉クラの栄

207
211

三
五
九
の
年
臭
氣
靡
姫
倉
の
栄

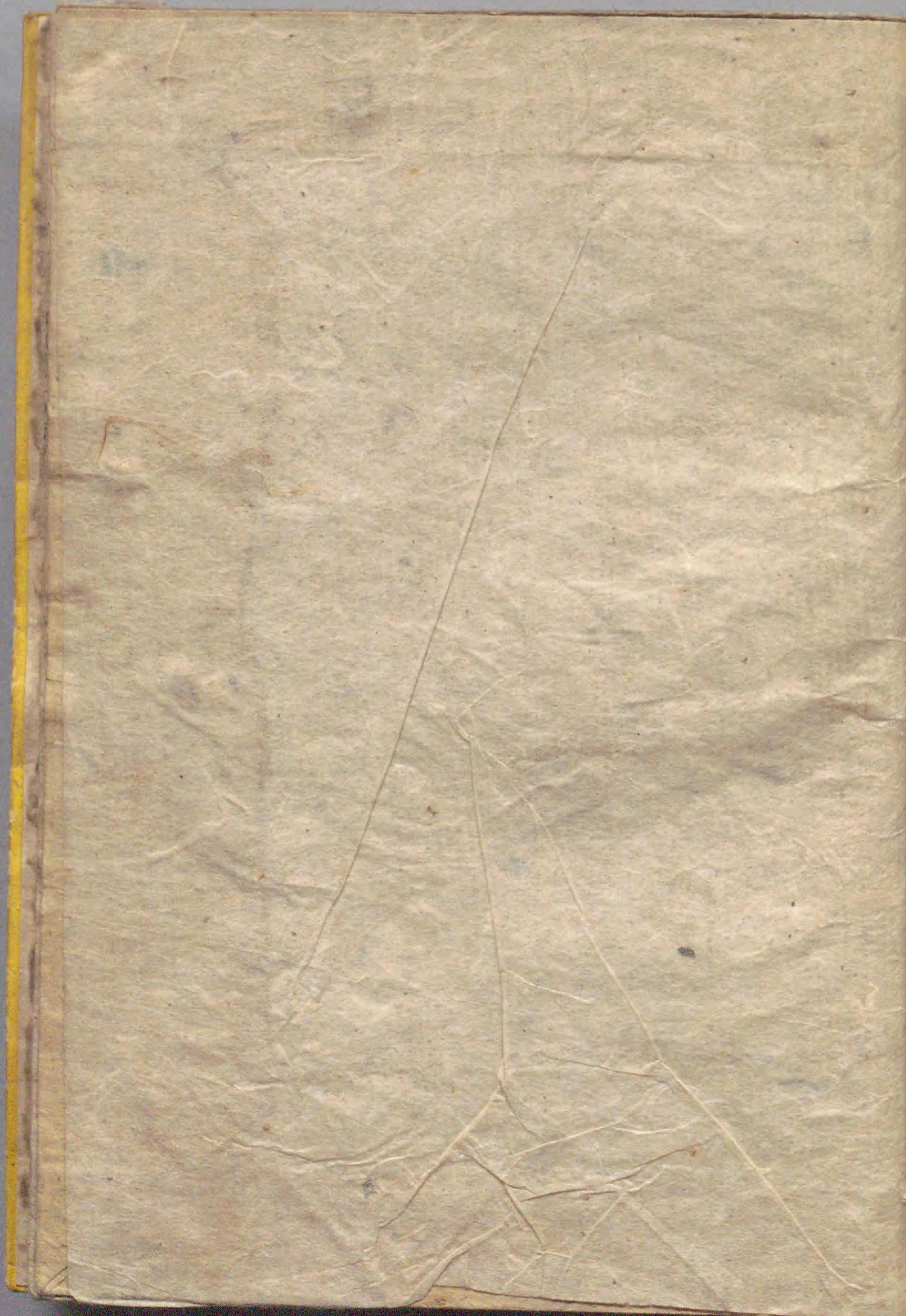
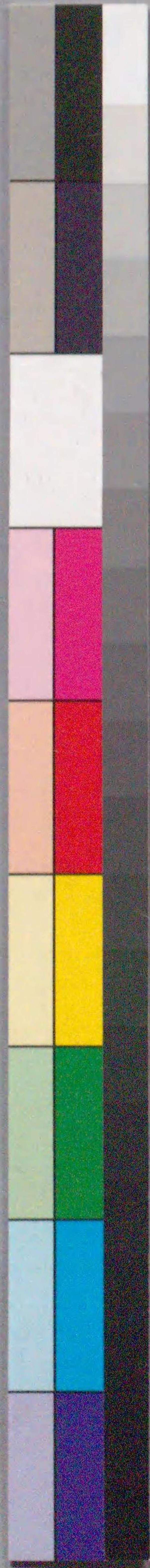
207
211



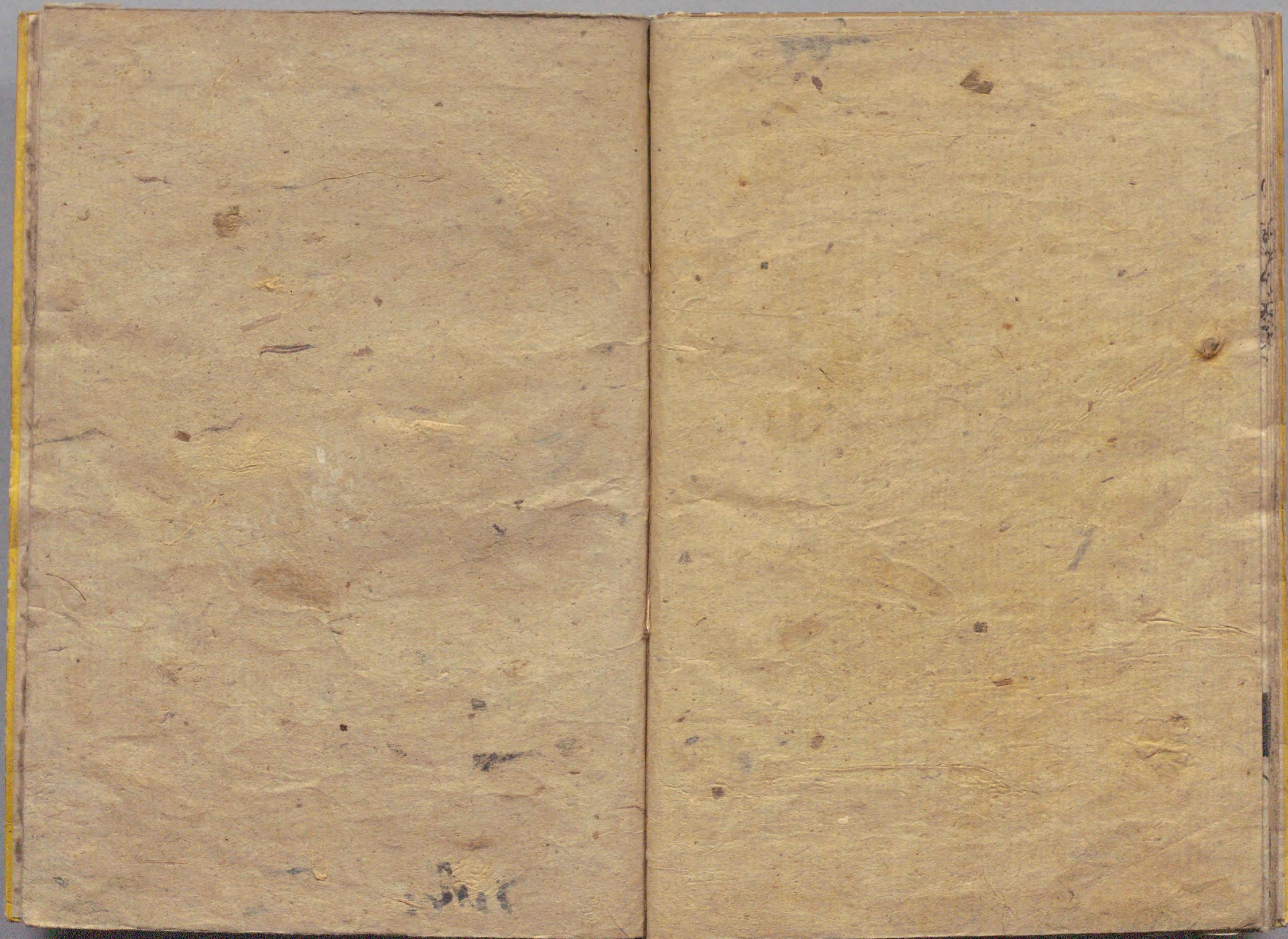
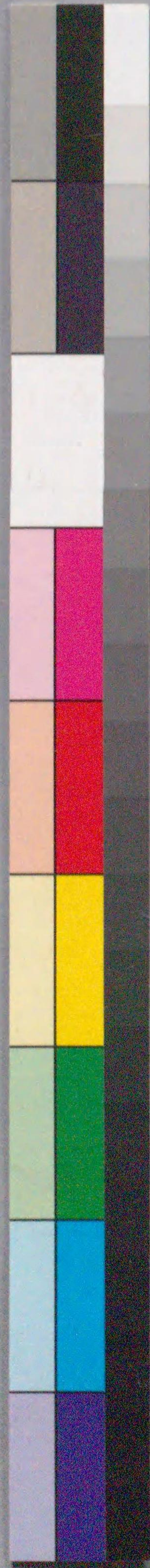






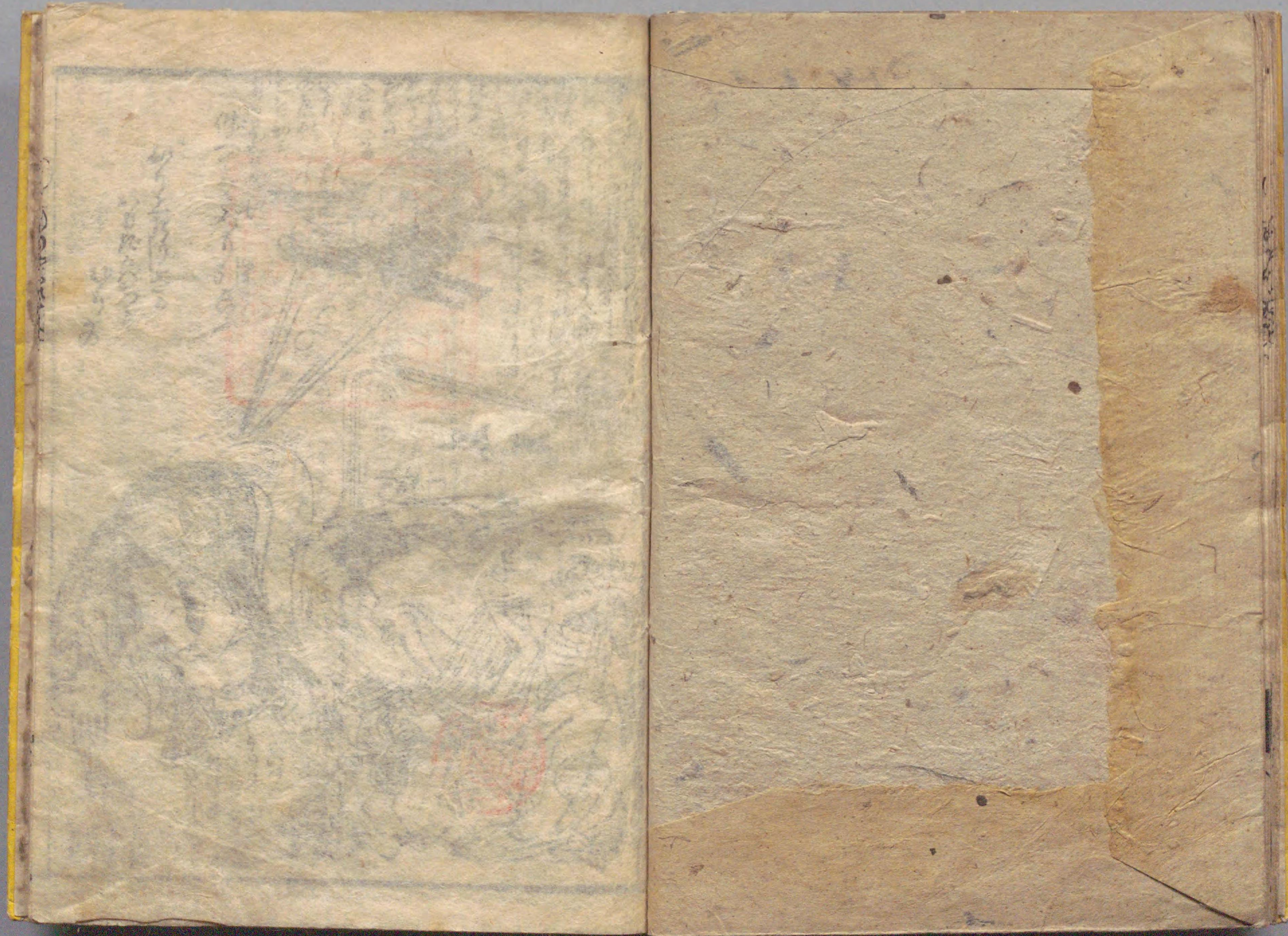
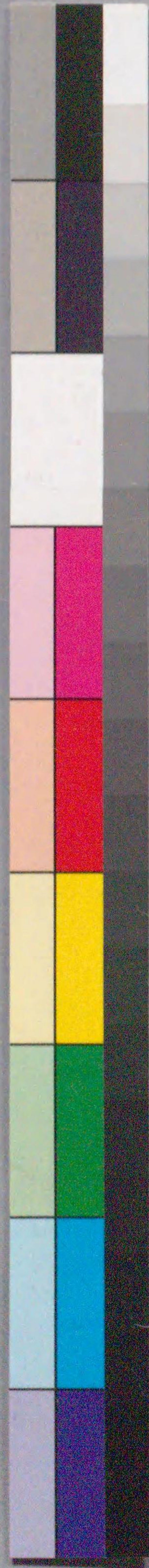






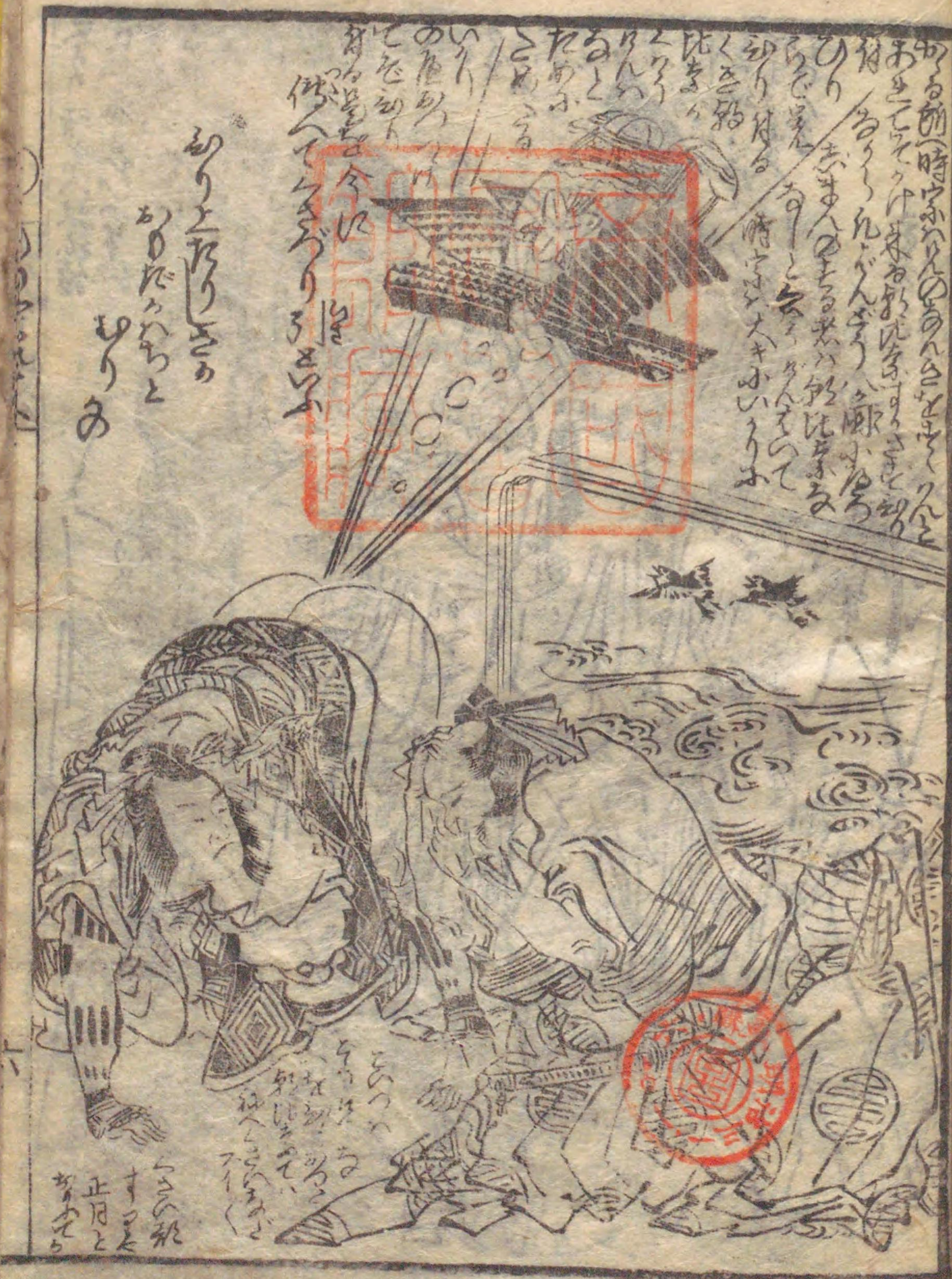
国立国会図書館 臭気靡[ヒリ]倉の栄 : 2巻 207-211

ガラス使用



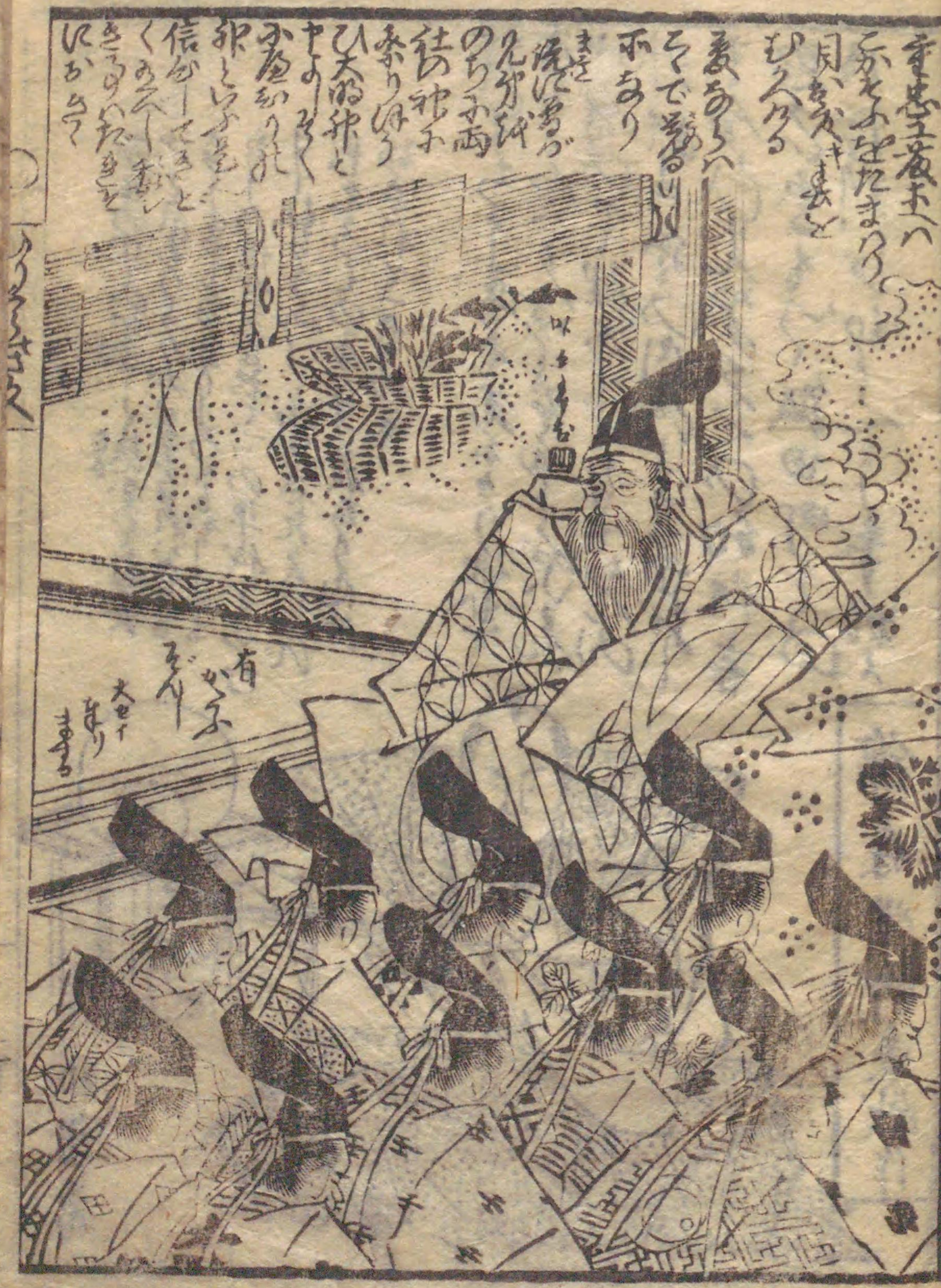
国立国会図書館 臭気靡[ヒリ]倉の栄 : 2巻 207-211

ガラス使用









重忠王殿下へ
 心をなしたまひ
 月を度きまよと
 むらさる
 羨あはれ
 らでさる
 不あり
 まよ
 洗は湯が
 兄弟分
 のちふ雨
 社神不
 条り好
 ひ大の神と
 中のりく
 不をりた
 信分してまよ
 くみえし
 きりたまよ
 にから

大正
 十
 年
 三月



さそり
 其の御り
 番ひりお
 りりとも
 神外お
 存のにお
 さらんあ
 りりさ
 多ひを
 小正やう
 におり中
 におり
 兄弟分
 となさ
 まこと
 たいあん
 と別也
 かんた
 きのい
 ちりひ
 ちりひ
 まるる



207

 211

御心ののの敷くはかしの花玉
 久たれあつたり出る玉のれい音も
 ちりもあつたりあつたりもあつたりも
 あり内任御玉をあらわすの車はあつたり
 するむらあつたりあつたりあつたり
 先えろその屋ちるあつたりあつたり
 あつたりあつたりあつたりあつたり

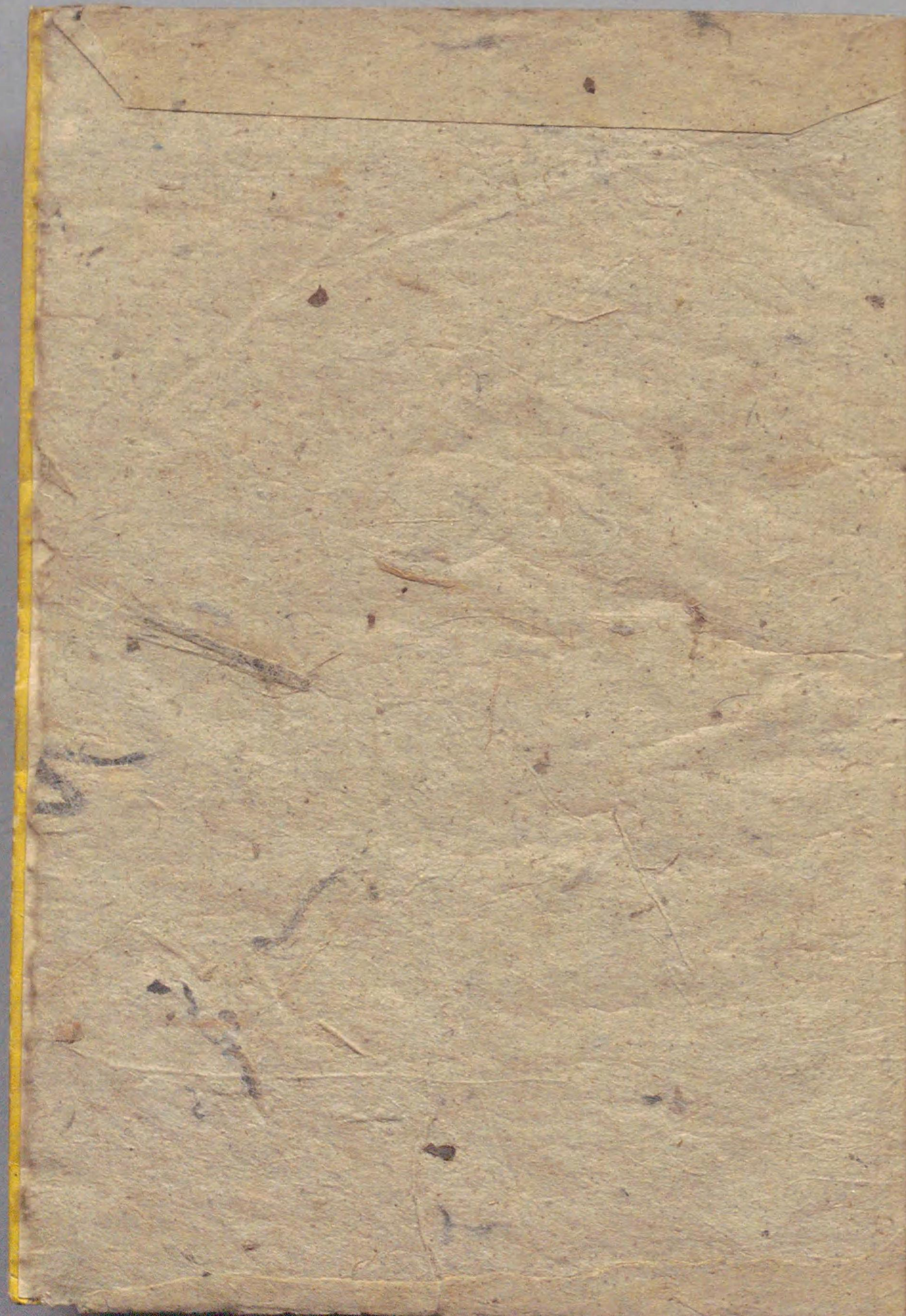
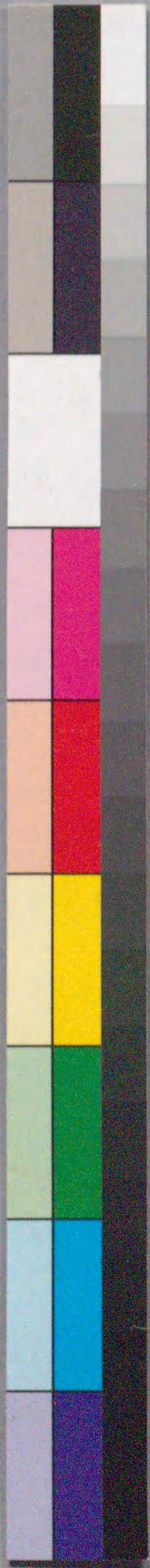
作のちちちあつたりあつたりあつたり
 屋玉のあつたりあつたりあつたり
 外はあつたりあつたりあつたり
 悪くあつたりあつたりあつたり
 法徳利はあつたりあつたりあつたり

錦森堂軒東戯作



春朗画



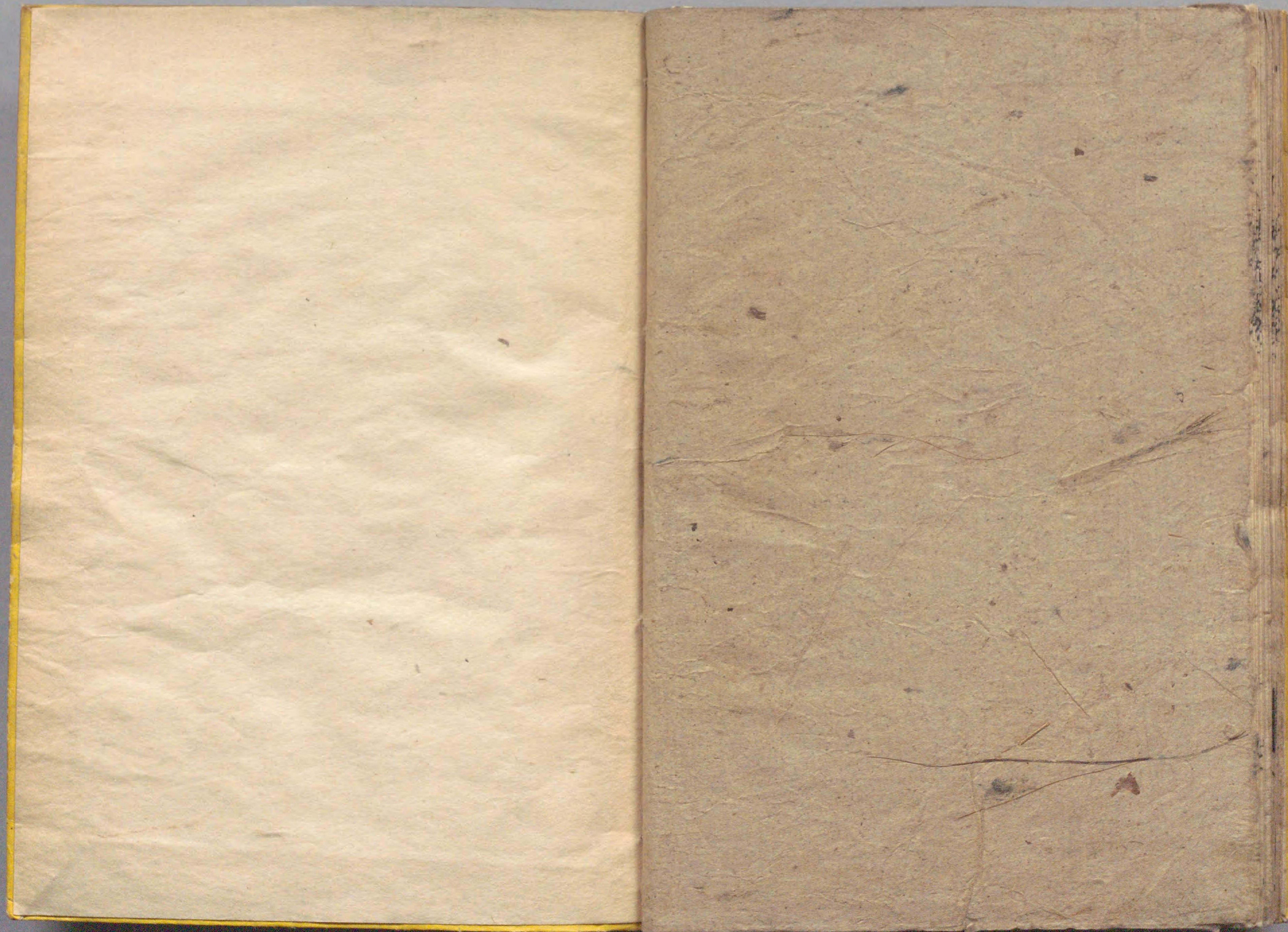


Handwritten text in vertical columns, likely in Japanese, located in the upper portion of the right page.

Illustration of a seated figure, possibly a deity or scholar, with a halo, located in the lower portion of the right page.

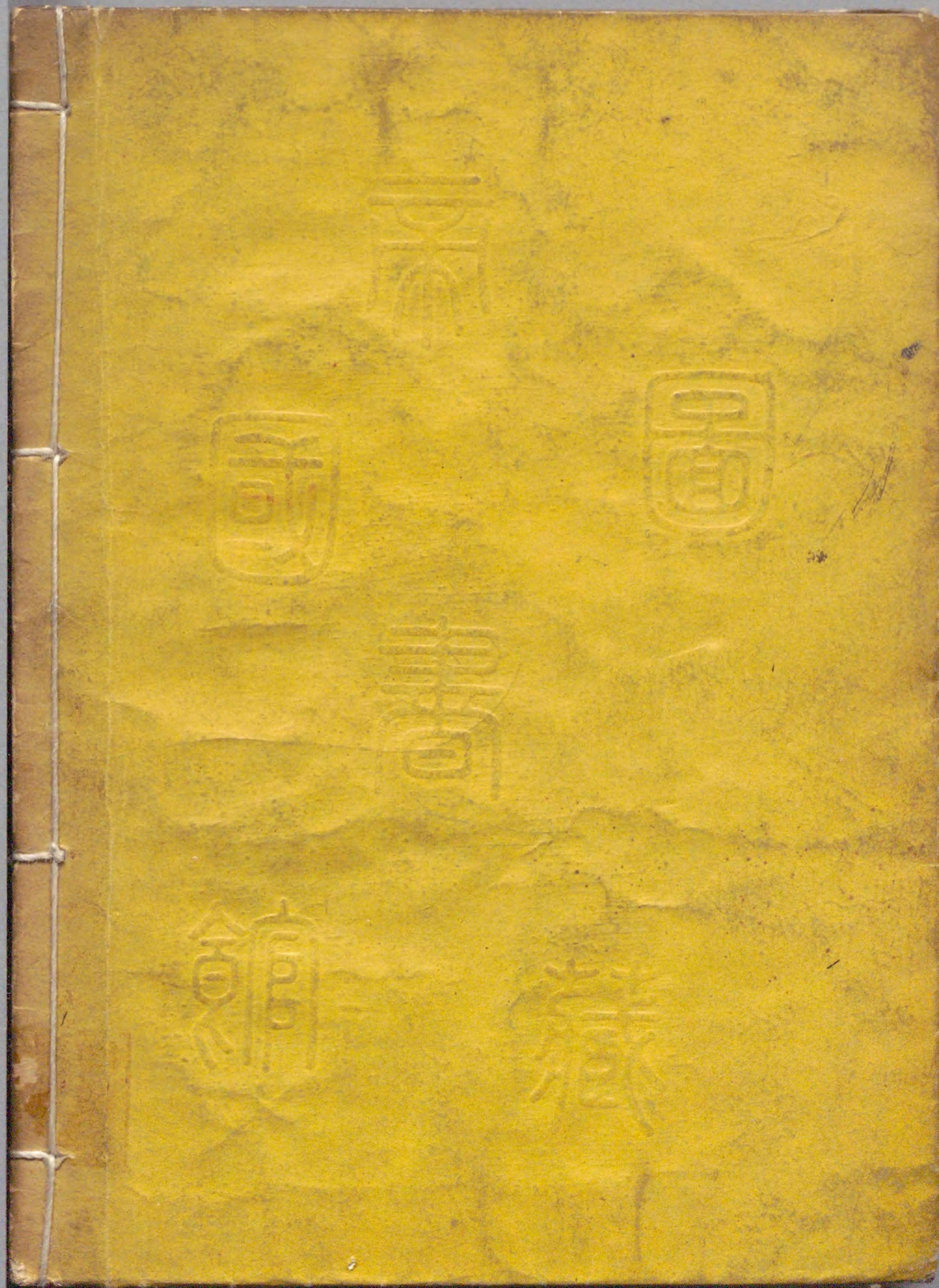
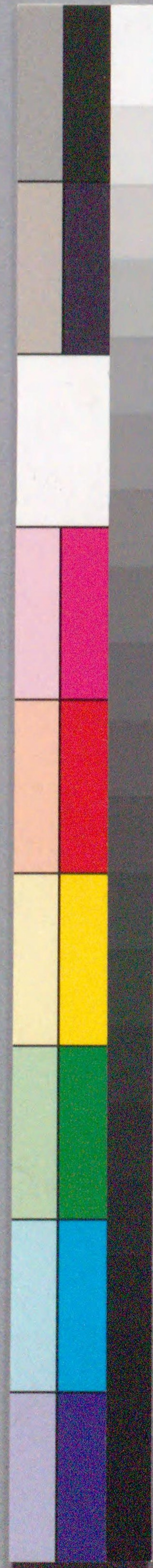
Additional handwritten text or a signature located to the right of the illustration.





国立国会図書館 臭気靡[ヒリ]倉の栄 : 2巻 207-211

ガラス使用



国立国会図書館 臭気靡[ヒリ]倉の栄 : 2巻 207-211

ガラス使用

